

## 「春風小学校教育環境整備事業基本計画(素案)」に対するパブリックコメントの結果及び市教委の考え方について

平成29年4月25日(火)から平成29年5月31日(水)にかけて実施しました意見提出手続(パブリックコメント)について、5名から10件のご意見をいただきましたので、ご意見の概要とそれに対する西宮市教育委員会の考え方を公表します。

### ■ 提出人数及び意見件数

#### ① 提出人数

(年代別・男女別)

年代	男性	女性	合計
30代		1	1
70代	3		3
80代		1	1
合計	3	2	5

(居住地域別)

提出方法	件数
春風小学校区内	4
上記小学校区以外の市内	1
合計	5

(提出方法別)

提出方法	件数
電子メール	1
郵送	2
持参	2
合計	5

#### ② 意見件数

(意見項目別)

意見項目	件数
2章 校舎改築の基本方針 3 協議の経過	1
2章 校舎改築の基本方針 5 学校づくりの方針	1
3章 校舎改築の基本計画 2 改築校舎配置の検討	1
4章 改築校舎の計画 1 施設概要	5
その他 今後の設計について	2
合計	10

(回答分類別)

回答分類	内容	件数
① 素案に記載済	意見内容が既に素案に盛り込まれているもの。	0
② 意見を反映	意見内容を基に、素案の修正や追加を行ったもの。	0
③ 今後の参考・検討	素案の修正はしないが、今後事業を進める際に参考とするもの、検討していくもの。	9
④ 対応が困難	対応が困難なもの、市教委の考え方と方向性が合致しないもの。	1
	合計	10

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
2章 校舎改築の基本方針					
3 協議の経過					
1	校舎配置が現状と変わり、階数も4階層となることから、近接住民への影響は極めて大きい。今後、近接住民へ配慮した設計・施工の検討を進め、十分な説明機会を設けることが必要。	1	校舎配置につきましては、複数の校舎配置案を比較検討し、教育環境、工期、事業費等の点から敷地北側へ校舎を配置する計画としています。また、今後の児童数に対応する諸室整備により校舎は一部4階となりますが、近隣にお住まいの方の住環境へ配慮も必要と考えています。今後の詳細設計の段階でも検討してまいります。 また、基本計画内容については説明会等で協議を重ねており、今後も継続して協議の機会を設けるよう努めてまいります。	4	③
5 学校づくりの方針					
2	学校は防災拠点として、備蓄倉庫や災害用トイレなどの防災施設等を整備していくのは勿論、防災関係機関と協議し、効果・効率的な防災計画のもとに整備していただきたい。	1	ご指摘のとおり、学校は地域の防災拠点であると認識しております。計画段階より防災危機管理局と協議し、災害を想定した地域の避難所としての機能を考え、計画しております。学校や地域の防災訓練等をふまえ、今後の設計段階でも検討してまいります。	5	③
3章 校舎改築の基本計画					
2 改築校舎配置の検討					
3	近隣への音の影響について、「北側配置」においては、音楽室等が離れた配置となり、音量が軽減されるため、その点は評価できる。しかし、運動場は南側配置となり、騒音増大が懸念される。日常生活で体調に支障をきたすことを懸念しており、校舎配置については「南側配置」を希望する。	1	校舎配置につきましては、複数の校舎配置案を比較検討し、教育環境、工期、事業費等の点から敷地北側へ校舎を配置する計画としています。 「北側配置」は音楽室等の音は、南側にお住まいの方へは軽減となりますが、運動場と近接することになります。運動場からの音対策については、音量を調整できるスピーカーの設置や植栽等による対応を検討してまいります。	7	④
4章 改築校舎の計画					
1 施設概要					
4	小学校は、楽器音、学童の声、体育授業等、球技音や運動会等各種行事時にみられるマイク音等の騒音がでる施設と認識しており、運動場からの騒音増大を懸念している。今後、植栽や遮音壁に相当するものを設置してほしい。	1	運動場からの音対策については、音量を調整できるスピーカーの設置や植栽等による対応を検討してまいります。	11	③

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
5	育成センターの東側に利用門を設置してほしい。 また、利用門のセキュリティをより強化されるよう検討いただきたい。	1	育成センターの利用門については、近隣に配慮した上で児童の安全確保を最優先に考え、検討してまいります。	11	③
6	学校施設の有効活用について、もっと地域と交流の場となるようなアイデアを計画に盛り込み、住民が普段から気軽に利用できるようにしてほしい。 周辺住民、地域住民との密接な交流を大事にしなければならないと考えており、地域との繋がりを大切に、人間形成ができるような場所となしてほしい。	2	学校内や地域の交流スペースとしてランチルームを整備する等、地域に開かれた施設整備を計画してまいります。 ご指摘の趣旨をふまえ、地域開放については、学校運営上支障にならない範囲にて、今後より多くの利用機会が持てるよう設計を検討してまいります。	11	③
7	プールが屋上に設置されていることで、児童の転落防止対策は十分検討しているのか。	1	屋上にプールを設置している小学校では、安全や風対策の観点からも約1.8メートル以上の壁を設置しております。児童の転落防止対策については十分配慮してまいります。	12	③
その他					
今後の設計について					
8	今後の児童数増加について、正確に把握されているのか疑問である。 計画案は現況延床面積より増床となっており、校舎規模が増加している。今後の児童数増加を推定して校舎規模を計画しているが、中長期的には児童数は減少していく。将来的に空き教室が生じることが予測され、事前に対策を講じておくことが必要だと考える。	2	今後の児童数については、児童の転出入等の不確定要素はありますが、住民登録数を基礎に住宅開発を加味して算出しています。 また、現況校舎と比較して延床面積が増加する要因は、児童増加による普通教室やトイレの整備等、必要な諸室整備によるものです。 なお、今後の少子化に伴う空き教室の利用については、別用途として転用できるよう設計の段階で検討してまいります。	—	③